

ねろる

人口のうごき

(7月1日現在)	(6月中)
人口・33,175	出生・46
男・15,943	死亡・29
女・17,232	転入・54
世帯・6,649	転出・89



— 2台目の救急車が —

17日、白根地区消防署に2台目の救急車が配置されました。この車は、日本消防協会が年次計画で全国に配車しているものの1台で、第1次5か年計画の最終年度に当市へ配車されたものです。写真は同時にふたり運べる新しい救急車

45年度の公共事業など決まる

公共事業
橋りょう整備
今年度予定されている公共事業は、橋りょう整備が中心で、白根、新津、白根、巻線、新津、白根、巻線の富月橋、それに新津、庄瀬、新飯田線の鶴ノ木橋の三本で、いずれも前年度からの継続事業ですが、四十六年度完成を目ざしている白井橋には今年度一億二千六百万円、同じく来年度完成予定の富月橋には七千五百六十

道路改良工事
一方、道路の整備改良には味方、亀田線の大郷地内をはじめ、月湯、五泉線の庄瀬地内、新津、茨曾根、燕線の茨曾根地内など五か所のほか、都市計画道路、諏訪木、古川線の新設にも着手されることになり、総額二千三百五十万円が計上されています。

道路舗装工事
また、道路舗装については加茂、巻線の庚、清水地内、新津、庄瀬、新飯田線の上八、庄瀬地内など、四つの事業が予定されており、工事費の総額では五千六百八十万

堤中ノ防 かさ上げに一億八千万

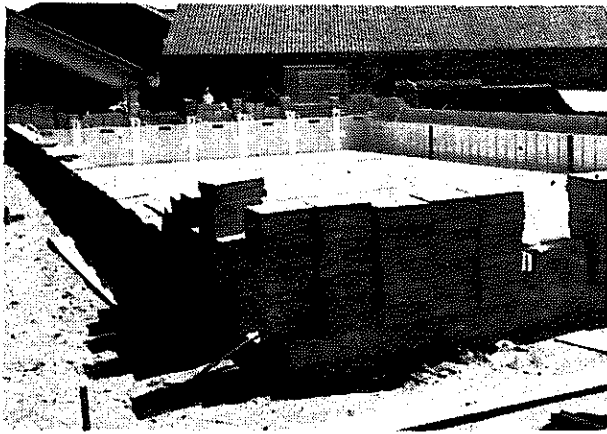
今年度(四十五年度)に市内各所で実施される土木事業は、中ノ口堤防のかさ上げなど総額五億六千万円が実施されることになり、一部すでに工事が実施されています。この工事は、国庫補助を受けて県が実施する公共事業と、県費で行なわれる県単独事業、それに市費で行なう市単独事業からなっており、公共事業の五億五百五十万円、県単独事業千八百万円、市単独事業千三百九十三万円を合わせると、昨年度(一億八百万円)の約三倍分の土木工事が市内で実施されることとなります。次に実施される工事のおもなものを紹介します。

公共事業

十万円が配分されており、今年度完成の鶴ノ木橋千八百六十万円を合わせると、総額二億二千二十万円が県道橋の整備に投入されることになって

その他

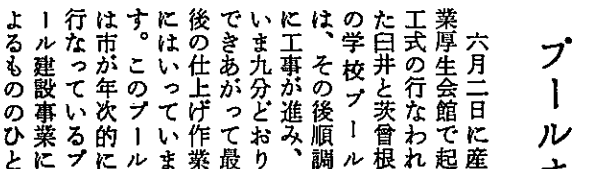
その他今年度から新しく着手される、都市下水道事業の



小山喜勇士さん 県知事から表彰

交通安全県宣言日の七月十日、新潟市の県民会館で開かれた「交通安全県宣言記念県民大会」で、諏訪木第四の小山喜勇士さん(五〇)が、互に交通安全所勤務が、互に県知事から表彰されました。小山さんは、昭和十四年七月に運転免許を取得して以来、これまでの三十年間無事故無違反で、模範的な運転と温厚な人柄が認められ表彰されたものです。

なお、小山さんは、いままでの間に、県交通安全協会長、県警察本部長、新潟交通社長などから表彰を受けています。



ブルーまもなく完成

六月二日に産業厚生会館で起工式の行なわれた白井と茨曾根の学校ブルーは、その後順調に工事が進み、いま九分どおりできあがって最後の仕上げ作業にはいっています。このブルーは市が年次のに行なっているブルー建設事業によるもののひとつ

大郷の吉田さんも 県防犯協会会長から

また、同大会の席上、防犯活動に功績のあった市内上大郷の吉田一以さん(五九)と市防犯協会庄瀬支会(代表者高橋千代松さん)も、県防犯協会会長から表彰されました。この表彰は、地域防犯体制の確立と、防犯思想の普及、さらに青少年の健全育成、非行防止につくした功績が認められたもので、同氏は昭和二十七年にも県知事から、消防活動につくした功績が認められて表彰を受けています。

手される、都市下水道事業の総額五億六千万円が実施されることになり、一部すでに工事が実施されています。公共事業で今年度本市に投入される工事費の総額は五億五千五百五十万円となっています。

市単独事業

市費で実施される市単独事業の土木工事は、四月十日号の広報しるろねでお知らせしたので内容については省略しますが、新町通りなど五か所の舗装費八百八十六万円のほか道路改良に二千五百七十七万円、合計三千三百九十三万円が当初予算に計上されており、すでに工事は始められています。また、国の制度を利用した農道舗装事業は、大郷地区千円(千六百六十万円)と小林地区七百円(七百十万円)が今年度着手されます。

8月 から世論調査

市は、八月一日から十日までの十日間に、次の方法で市政についての「世論調査」を行なうことにしました。

この調査は、満二十歳以上の住民について、選挙人名簿の中から無作為に約二十分の一(五割)に当たる千九十九人を抽出し、市政についての要望などをお聞きするもので、期間中該当になった皆さんのところへ、調査員から調査用紙が配布されますので、よろしくご協力をお願いします。

1.調査のねらい 市政のうち特に市民生活に密着したものについて回答を寄せてもらい、その結果を市政執行の参考にしようというものです。

2.調査項目 郷土意識、市政全般についての意識、職員への態度など、二十八項目について。

懸賞募集を予想人口の調査

入賞13人に15,000円

五年おきに行なわれていた国勢調査が、昭和四十年に続いてことし十月一日現在で、全世帯について実施されます。県は調査PRの一環として次のとおり県民の予想人口を懸賞募集することにしています。皆さんもぜひご応募ください。

▽応募方法「官製はがき」を使用し、一枚に一点の予想人口をおよび住所、氏名を明記のこと。

▽締め切り「昭和四十五年十月一日(当日の消印有効)」

▽送り先「郵便番号九五一一新潟西局区内、新潟県企画開発部統計課内「国勢調査新潟県実施本部」あて

▽賞金「本年十二月末までに総理府統計局から公表される速報人口に基づき、これの中したもののおよび近似の数により、次のとおり完成を待ち望んでいます。写真は完成までもない白井のブルー

(四十四年度)よりも三〇割ほど多くなっています。この保険税は、次のあん分率で計算されたものです。

所得割り 三・二割(前年度一・六割)
資産割り 二・一・四割(前年度二・〇割)
均等割り ひとり当たり千二百七十二円(前年度千六百六十円)
平等割り 一世帯当たり四千四百三十九円(前年度三千四百二十七円)

このように今年度のあん分率が前年度と変わったのは、三月定例市議会で、保険税率の一部が改正され、所得割りが四〇割から五五割に、均等割りが三五割から二〇割にそれぞれ改められたためです。

われ先に、急ぐ心に事故が待つ

<7月21日~8月21日>

夏の交通事故防止運動

- レジャー、墓参、帰省者の交通事故防止
- 夏休み中の子どもの交通事故防止

8月	室	在
14日	新飯田	瀬
17日	庄	井
18日	白	鷲
19日	鷲	巻

八月の「農地相談室」は、次の日程で開かれます。